

PRESTO W50

50リットルリアクターの冷却 +20°Cから最低到達温度の確認

Objective

このケーススタディでは50リットルガラスリアクターを使い、PRESTO W50の最低到達温度を調べます。PRESTO W50は2mのメタルチューブによりガラスリアクターに接続されており、+20°Cから最低到達温度まで冷却されます。

Environment

室温 +20 °C
湿度 45 %
電源 400 V / 50 Hz

Test Conditions

JULABO ユニット	PRESTO W50
冷却能力	+20 °C 7.5 kW 0 °C 6.5 kW -20 °C 3.0 kW
加熱能力	6 kW
バンドリミット	行わない
吐出圧	0.5 bar
循環液	サーマル HL60
リアクター	50 l ガラスリアクター (QVF) 循環液 35 l サーマル HL60
ジャケット容量	26.5 l
コントロール	外部制御 (ICC)

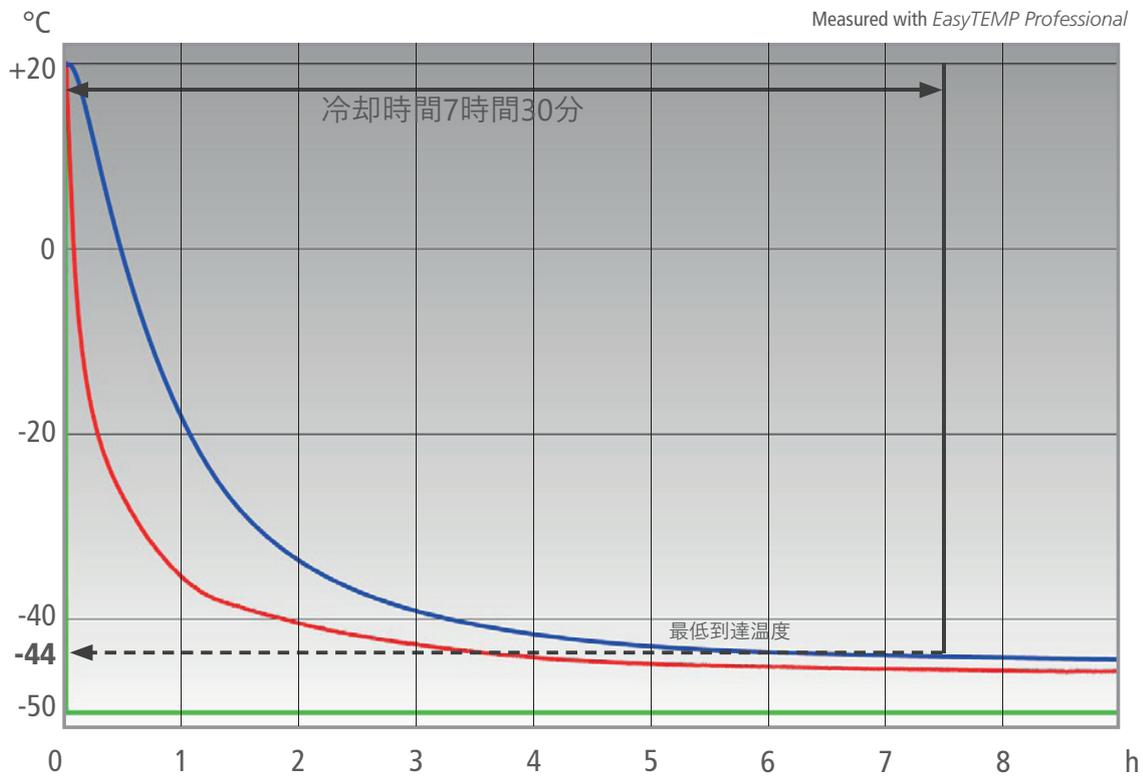
コントロールパラメーター

Xp 0.2 K
Tn 695 s
Tv 85 s
Xpu 15 K



Test Results

PRESTO W50 は+20°Cから最低到達温度に達するまで7時間30分かかりました。
今回のテストでは-44°Cまで到達しました。



- 設定温度
- リアクター内部温度
- リアクタージャケット温度

Tip
リアクター保護の為に
"バンドリミット"機能を使用してください。
リアクター内部温度と
リアクタージャケット温度
差を設定することが出来ます。

Profile of reactor

Tip
無償のソフトウェア
*EasyTEMP*を使えば
PCからユニットのコントロールや温度カーブの
表示することが出来ます。

EasyTEMP